

令和8年度

北勢線の今後の在り方の検討に向けた基礎調査業務を踏まえた既設構造物の追加調査業務 公募型プロポーザル基本方針

1. 事業の目的等

三岐鉄道北勢線は、沿線地域住民の通勤・通学、日常生活などに必要不可欠な移動手段であるとともに、地域経済活動の基盤となる重要な社会インフラとして存続してきた。

しかしながら、近年においては、人口減少・少子高齢化による利用減に加え、燃料価格や物価、人件費の高騰も相まって厳しい経営状況を余儀なくされている。

令和4年度の国の有識者会議においては地方鉄道の在り方について、国・自治体・鉄道事業者が協力し協議を行うことが提言された。

こうした現状分析や状況を踏まえ、北勢線沿線地域の移動手段を将来にわたり維持確保していくために、令和5年度から令和6年度にかけて基礎調査を実施した。

この調査において、北勢線の将来的な在り方に関して具体的な方向性を検討するための現状分析や現状維持以外のモードへの転換の可能性について調査を実施した。

本業務では、上記基礎調査にて今後の検討課題として明らかとなった橋梁などの既設構造物の継続活用可否の追加調査を実施し、北勢線の今後の在り方を検討するための資料を作成することを目的とする。

2. プロポーザル方式を採用する具体的な理由

本業務は、北勢線沿線地域の実情を反映した複雑な条件設定や検討、事業者との綿密な打合せの必要性などが予想されており、業務前の明確な仕様確定が困難であるため、公募することにより事業者から様々な提案を受け、それらを精査することで、より優れた成果を出すことが期待出来るため。

3. プロポーザル方式を採用することにより期待できる効果

幅広い専門的な知識や過去同様の業務を実施した実績をもった事業者の提案を、公募し精査することで、より優れた成果を得ることが出来ると期待される。

4. 事業スケジュール

項目	日程
公募開始	令和8年4月28日
質問の受付期限	令和8年5月25日
質問の回答	令和8年5月29日
参加申込書等の提出期限	令和8年5月25日
参加資格の確認通知	令和8年5月29日

企画提案書等の提出期限	令和8年6月8日
書類審査・ヒアリング審査	令和8年6月24日（予定）
結果通知・公表	令和8年6月下旬頃
契約の締結	

5. 審査方法等

審査は選定委員会において審査し、競争性・透明性の確保に配慮しながら、企画提案の内容や事業の実施能力等を審査・採点し、審議のうえ契約候補者を選定する。